

# 株式会社 神戸工業試験場

## プラント設備検査の材料評価を効率化！ 「放電サンプリング装置」



### 企業の特徴・強み

近年、顧客から高い評価を得ている装置が「放電サンプリング装置」です。プラント実機の配管等の大型部材からサンプルを採取し、部材の余寿命評価や欠陥等の性状調査を、高精度に行うため開発されました。本装置は販売するだけでなく、当社の技術者がプラント現地へ装置を搬入し、サンプリングまで行う受託業務としても活用されており、今では国内のみならず、海外からも依頼があります。



### オンリーワン企業認定後の取組



放電サンプリング装置によって取得したサンプルから、小型のミニチュア試験片を製作、試験評価するミニチュア試験サービスを当社は提供しています。さらに、一般財団法人電力中央研究所と余寿命評価ビジネスに関するアライアンス契約を締結し、電力中央研究所が持つ豊富な研究成果に裏打ちされた信頼性の高い余寿命診断を一緒に提供しています。対象となる分野は、火力発電プラントは言うまでもなく、石油精製プラントのFCCなど、高温高圧下で使用される様々な材料の余寿命評価に対応し、顧客から高い評価をいただいています。近年では、通常ミニチュアサイズよりさらに小さい超小型のウルトラミニチュア試験技術の開発にも成功しており、国際的にも高い注目度を浴びており、国内外から問い合わせが増えつつあります。



### 最新トピックス・アピールポイント

金属製品の破壊に起因する事故のリスクは社会のあらゆる場面に存在しており、そうした事故を防止するために金属の破断面の画像を綿密に観察し、破壊原因を特定する診断解析、いわゆるフラクトグラフィが必要になります。この診断には高度な専門性が求められる一方、そうした専門性を有する技術者または研究者の数は年々減っているため、AIを用いたFraD (Fractography × Deep learning) サービスを展開し始めました。このクラウドサービスを用いることで、破壊原因をいち早く特定し、速やかに事故の対策や対応に取り掛かれることが可能となります。



## COMPANY PROFILE

当社は、あらゆる材料の試験片加工・材料試験・化学分析をワンストップで提供する総合的な受託試験・化学分析会社です。顧客が望む品質とスピードでの研究支援サービスを、日本のみならず東アジアや欧米までグローバルに展開しつつあります。

### DATA

所在地	加古郡播磨町新島47-13
従業員数	427名
資本金	5,000万円
設立	1950年3月
代表者	代表取締役社長 鶴井 昌徹